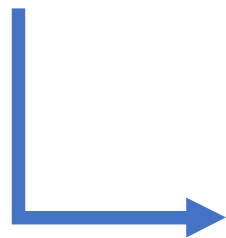




広島市の街並みと原爆ドーム（2015年12月）「NHKクリエイティブ・ライブラリー」
Imagine/John Rennon

被爆体験証言者 梶矢 文昭



被爆体験伝承講話

被爆体験伝承者 大石 秀
邦

講話の流れ

- 1 原子爆弾その被害の様子
- 2 梶矢文昭さんの被爆体験
- 3 次世代へヒロシマを繋ぐ

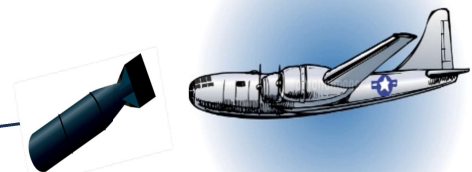
はじめに

1945年 8月 6日 (月) 午前 8時15分
__秒

1945年 8月 9日 (木) 午前11時02
分__秒

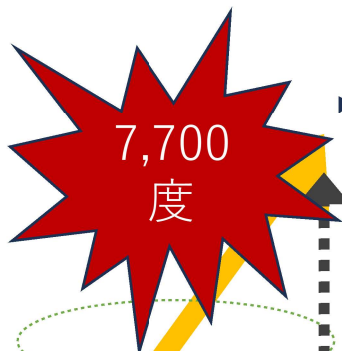
1 原子爆弾その被害の様子

上空600mでさく裂



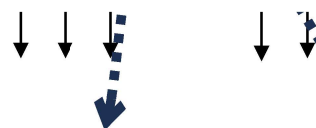
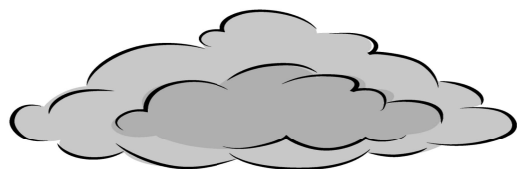
B29 エノラ・ゲイ号
矢賀駅上空 高度
9,600m

投下から43秒
後



7,700
度

放射性降下
物 (黒い雨)



(閃光) 熱線

爆風 (衝撃
波)

放射線
(中性子線・ γ
線)

放射性降下物
(死の灰)

残留放射

(誘導放射
線)

爆心地
島医院

半径
約2km

3000~4000
度

秒速280
m

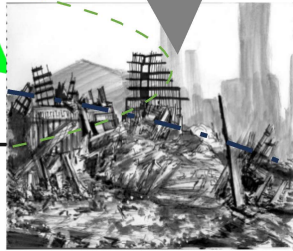
半径
約2km

天満
川

本
川

元安
川

京橋
川





広島市上空からの写真

AP (照準点) を中心とする
白線の円の直径は約5.0 km

広島湾

撮影 米軍 (1945年3月28日)
寄贈 スティムソン・センター
作成 広島市立大学 橋本健佑
提供 広島平和記念資料館

1. Army Transport Base	25%	16. Hiroshima RR Station	100%
2. Army Ordnance Depot		17. Railroad Station U/E	100%
3. Army Food Depot	35%	18. Bridge, debris loaded, intact	
4. Army Clothing Depot	85%	19. Bridge, 1/4 missing	
5. E. Hiroshima RR Station	30%	20. Large bridge, shattered, "	
6. U/E Industry	90%	21. Bridge, large hole W. side	
7. Sumitomo Rayon Plant	25%	22. Bridge, intact, banks eroded in	
8. Kinkwa Rayon Mill	10%	23. Bridge, " debris covered	
9. Teikoku Textile Mill	100%	24. Both bridges intact	
10. Power Plant	?	25. Bridge, 100% destroyed	
11. Oil Storage	On fire	26. Bridge, severely damaged	
12. Elec. Sy Power Sta	100%	27. Bridge, destroyed	
13. Elec. Power Generator	100%	28. Bridge, shattered, inoperatib	
14. Telephone Company	100%	29. Bridge, intact, slight dange	
15. Hiroshima Gas Works	100%	30. Bridge, intact, severely dan	



広島市上空からの写真

散在する陸軍の拠点施設
 や
 演習場及び軍港、軍需工場

撮影 米軍（1945年3月28日）
 寄贈 スティムソン・センター
 作成 広島市立大学 橋本健佑
 提供 広島平和記念資料館

7月16日

米国がニューメキシコ州アラゴモード実験場での世界初の核実験（トリニティー実験）に成功

7月25日

8月3日以降に、**広島・小倉・新潟・長崎**の一つに投下を決定

8月2日

第1投下目標を**広島**とし、投下を**8月6日**とする命令

1:45 エノラ・ゲイ号、観測機と撮影機を伴って離陸

7:09 気象観測機1機が広島県上空へ、警戒警報発令

8月6日

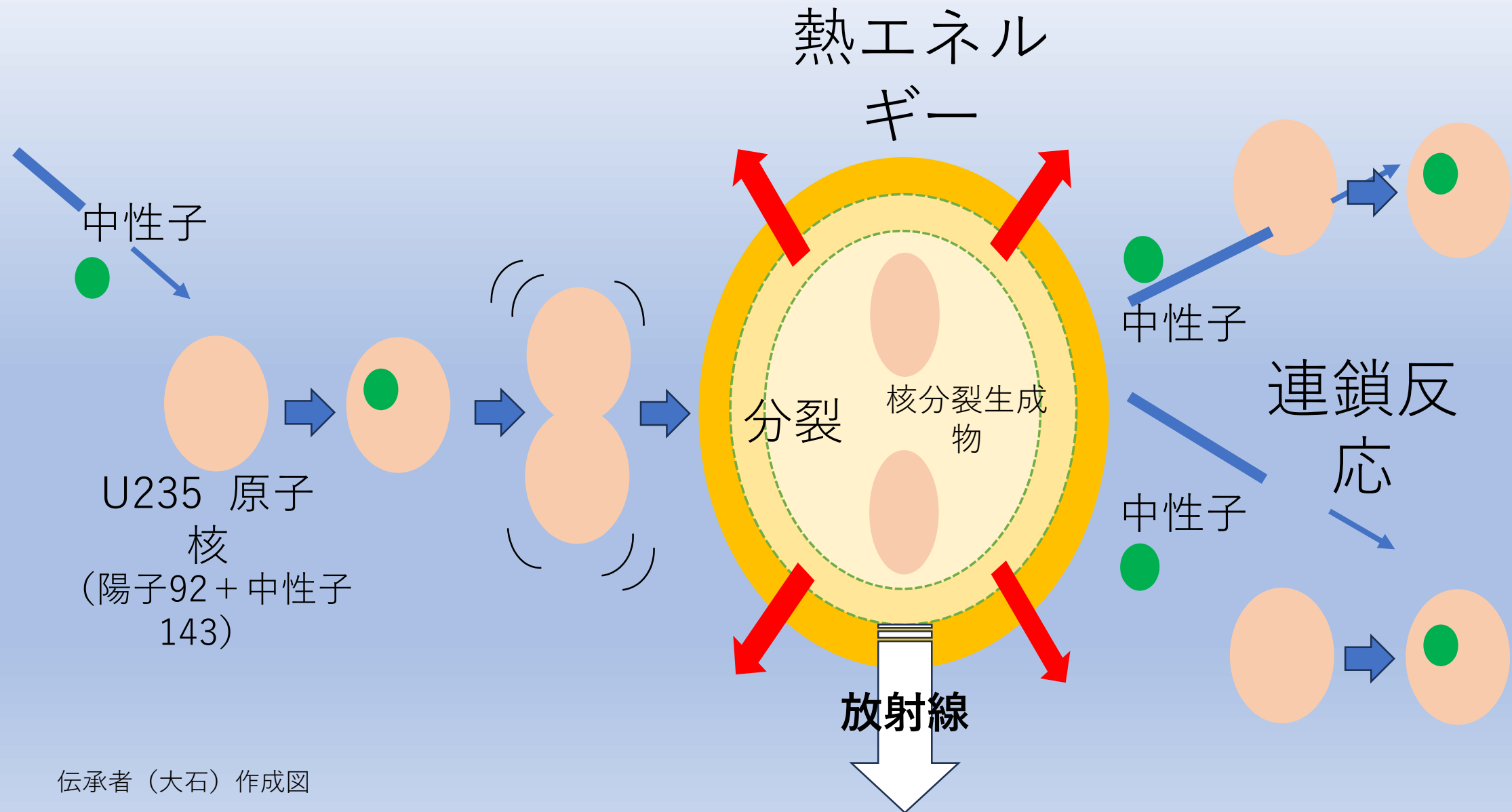
7:31 気象観測機は広島県上空を去り、警戒警報解除

(日本時間)

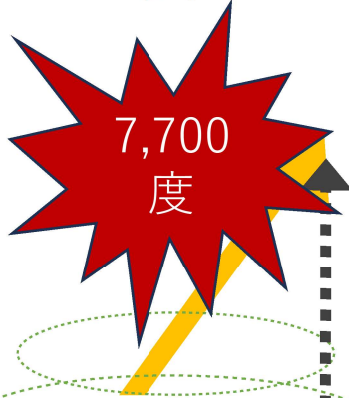
8:06 福山市西部の上空を西へと進む大型機3機発見

8:15 原子爆弾（リトルボーイ）投下（43秒後さく裂）

核分裂



上空600mで炸裂



7,700度

放射性降下物 (黒い雨)



(閃光)

熱線

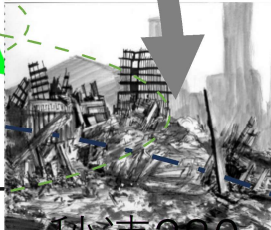
爆風 (衝撃波)

(衝撃)

放射線

(中性子線・ γ 線)

放射性降下物 (死の灰)



残留放射

(誘導放射線)

爆心地
島医院

半径
約2km

3000~4000
度

秒速280
m

半径
約2km

天満川

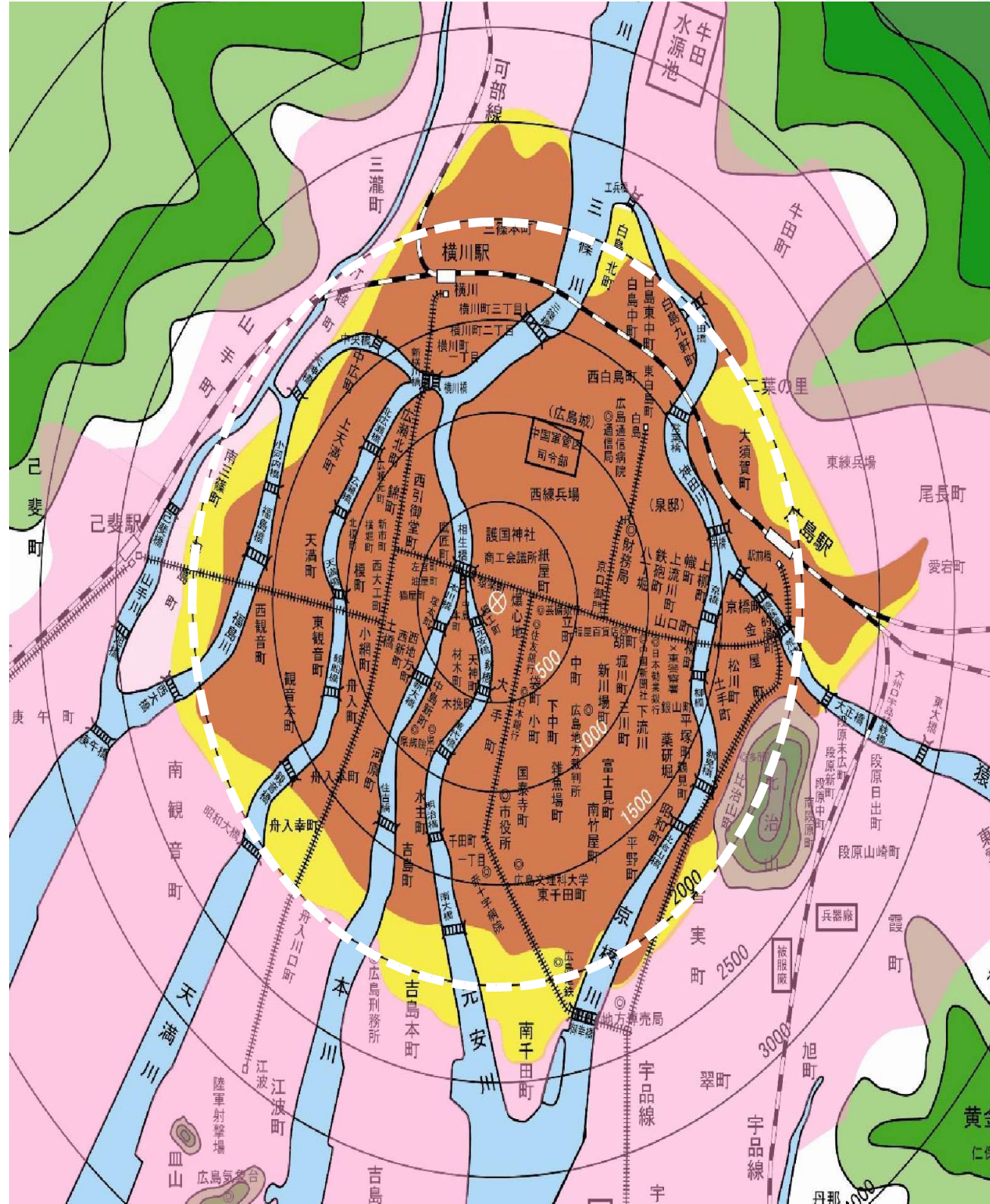
本川

元安川

京橋川

原子爆弾被災状況 広島市街説明図

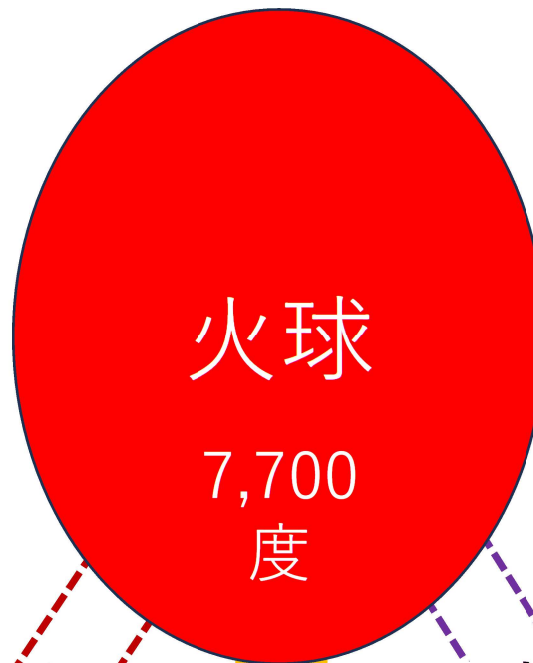
-  色は全焼区域を示す
-  色は建物倒壊区域を示す
-  色は川及び海面を示す
-  色は山林を示す



熱線



撮影 尾糠 政美 提供 広島平和記念資料館



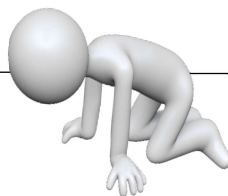
赤外線

紫外線

可視光線
(ピカ)

爆心地周辺の地表温度は3,000~
4,000度

火傷



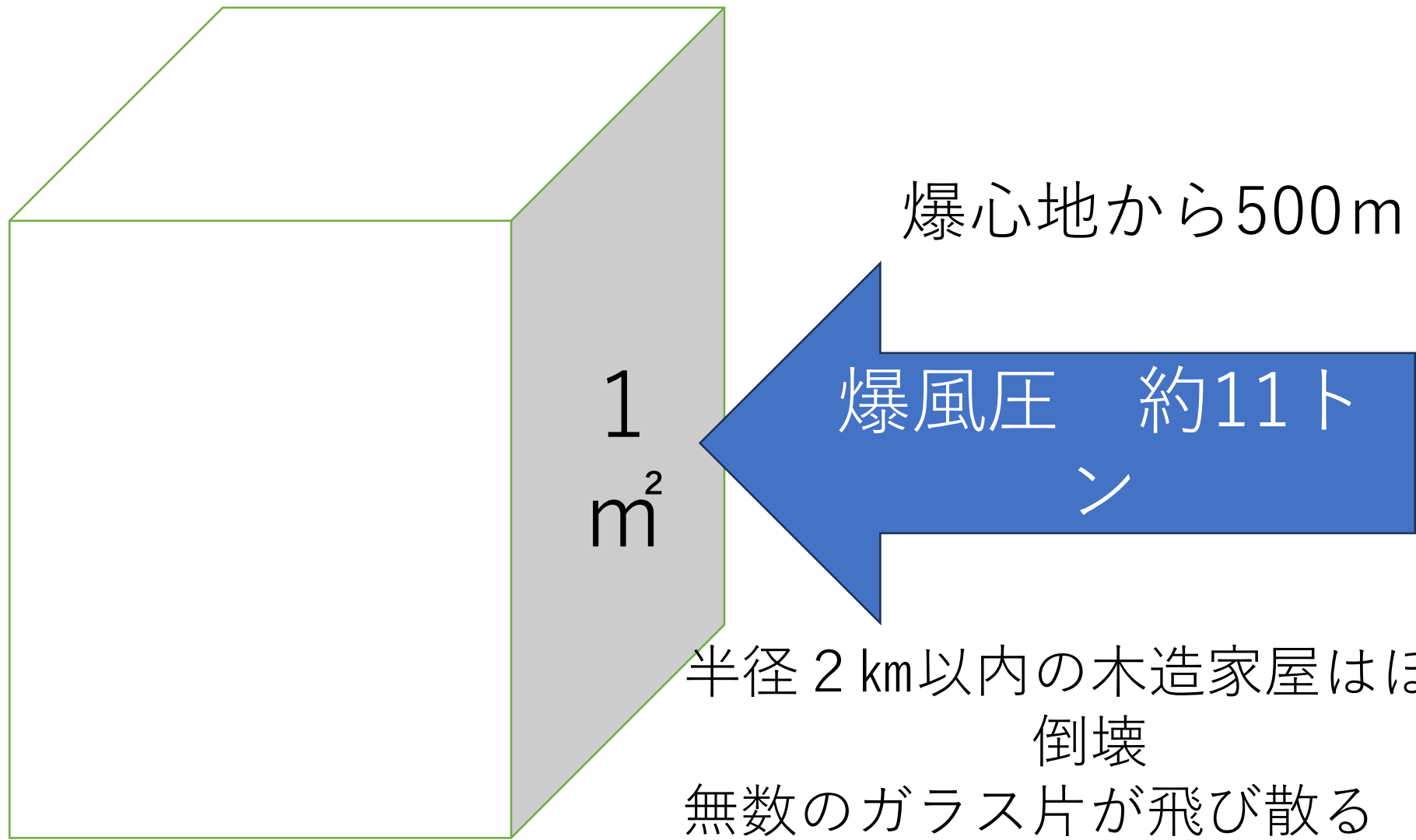
火事嵐



網膜損傷

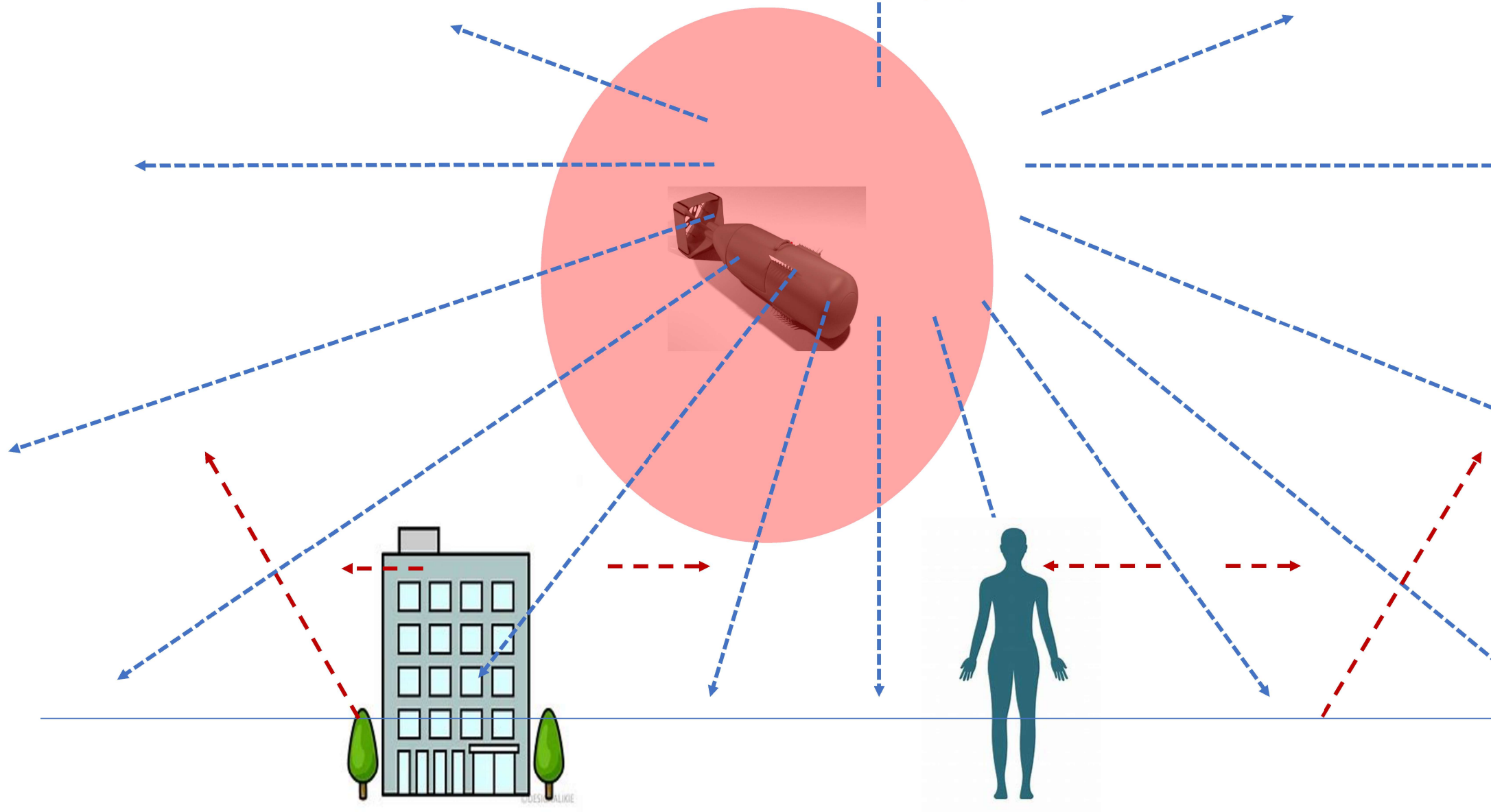
爆風

爆発点は超高压高温、爆心地から100mの風速は約280 m/秒



放射線

初期放射線は核分裂の開始からさく裂後、1分までに放出



東京帝国大学医学部調査班による

爆心地からの距離と死亡率

2 km以内の898人を調査（死者507人）

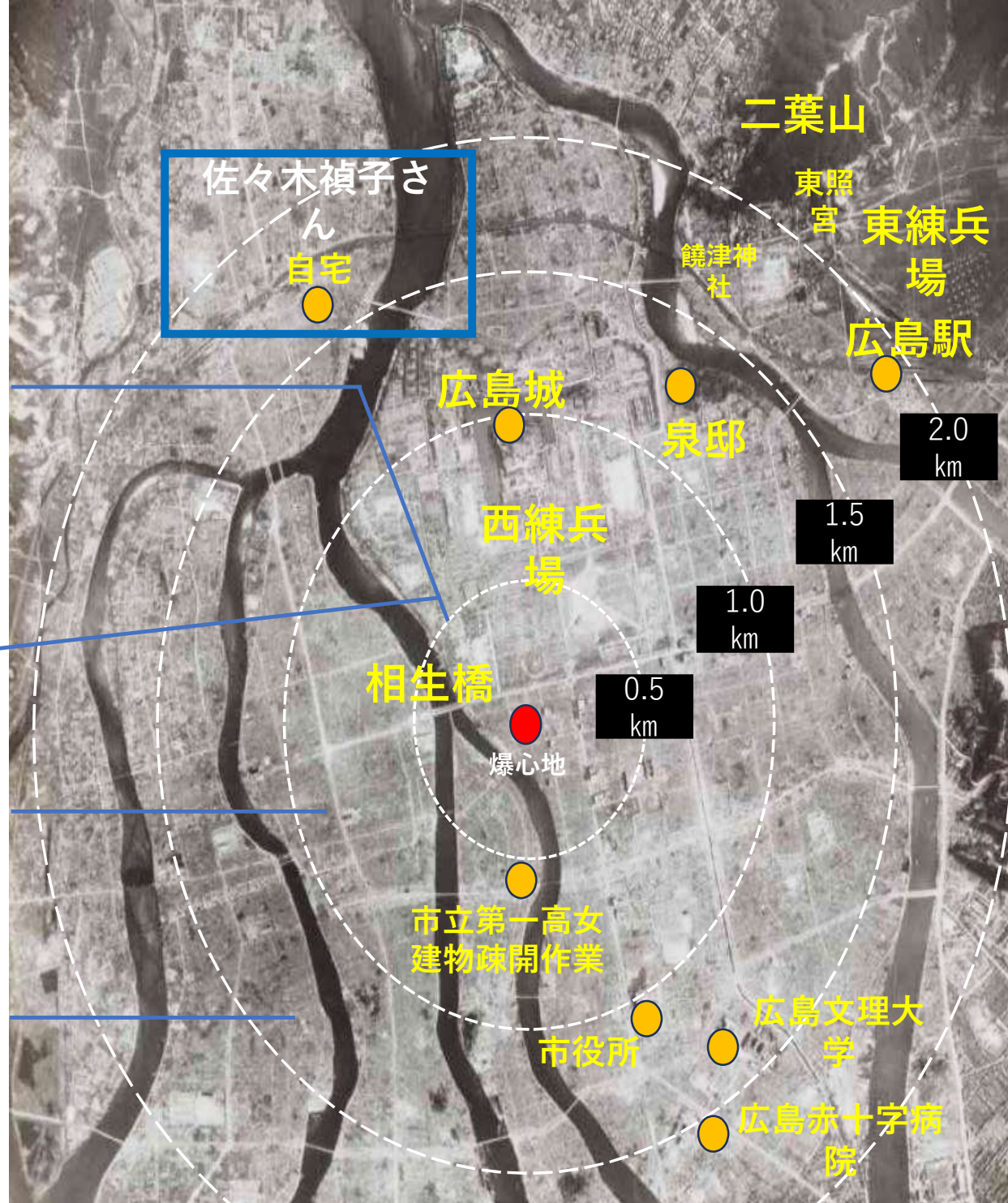
(%は1945年11月時点での推定値)

0.0km～0.5km 死亡率
98.4%

0.6km～1.0km 死亡率
90.0%

1.1km～1.5km 死亡率
45.4%

1.6km～2.0km 死亡率
22.6%



「中国新聞」（2023年2月8日）の記事から転載

撮影 米軍 寄贈 スティムソン・センター 作成 広島市立大学 橋本 健佑 提供 広島平和記念資料館

原爆きのご雲の下 で

原子爆弾の炸裂によって発生した火球
の雲

爆風の吹き戻しや火災による上昇気流
の雲

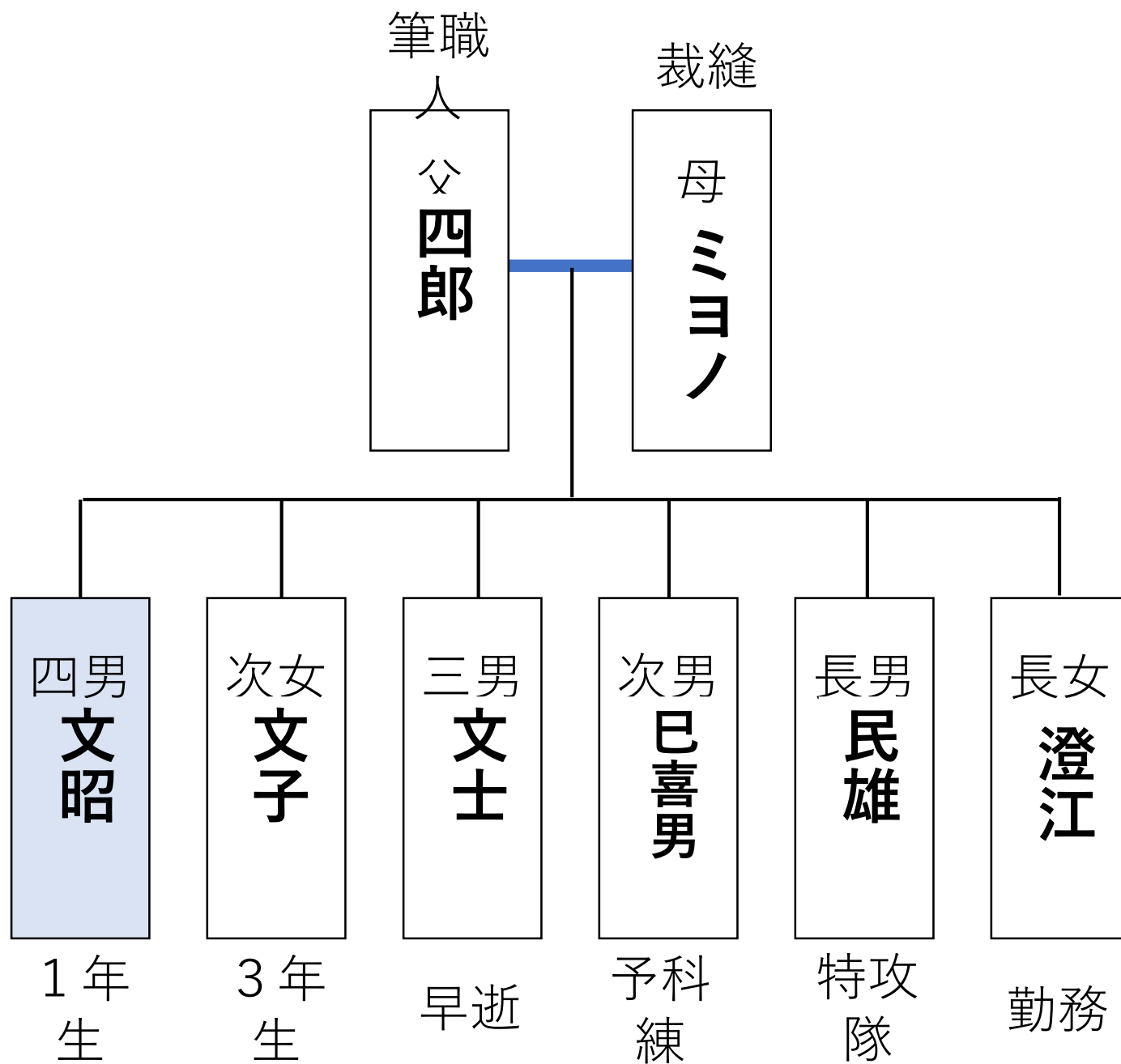
爆風で吹き飛ばされた土ぼこりや火災の
煙

2 梶矢文昭さんの被爆体 験

梶矢家



提供 梶矢 文昭



二つの疎開

学童疎 建物疎開

開

開

広島市の中央部
現在の平和大通り
戦時中市の防空体
制を官民協力一致の
もとで家屋の取りこ
わしが急ピッチで行
われたありました
ですが広島市この
原爆投下はこの人
命を数多く奪った
ました
竹屋町不近



←比治山へ

→社神白



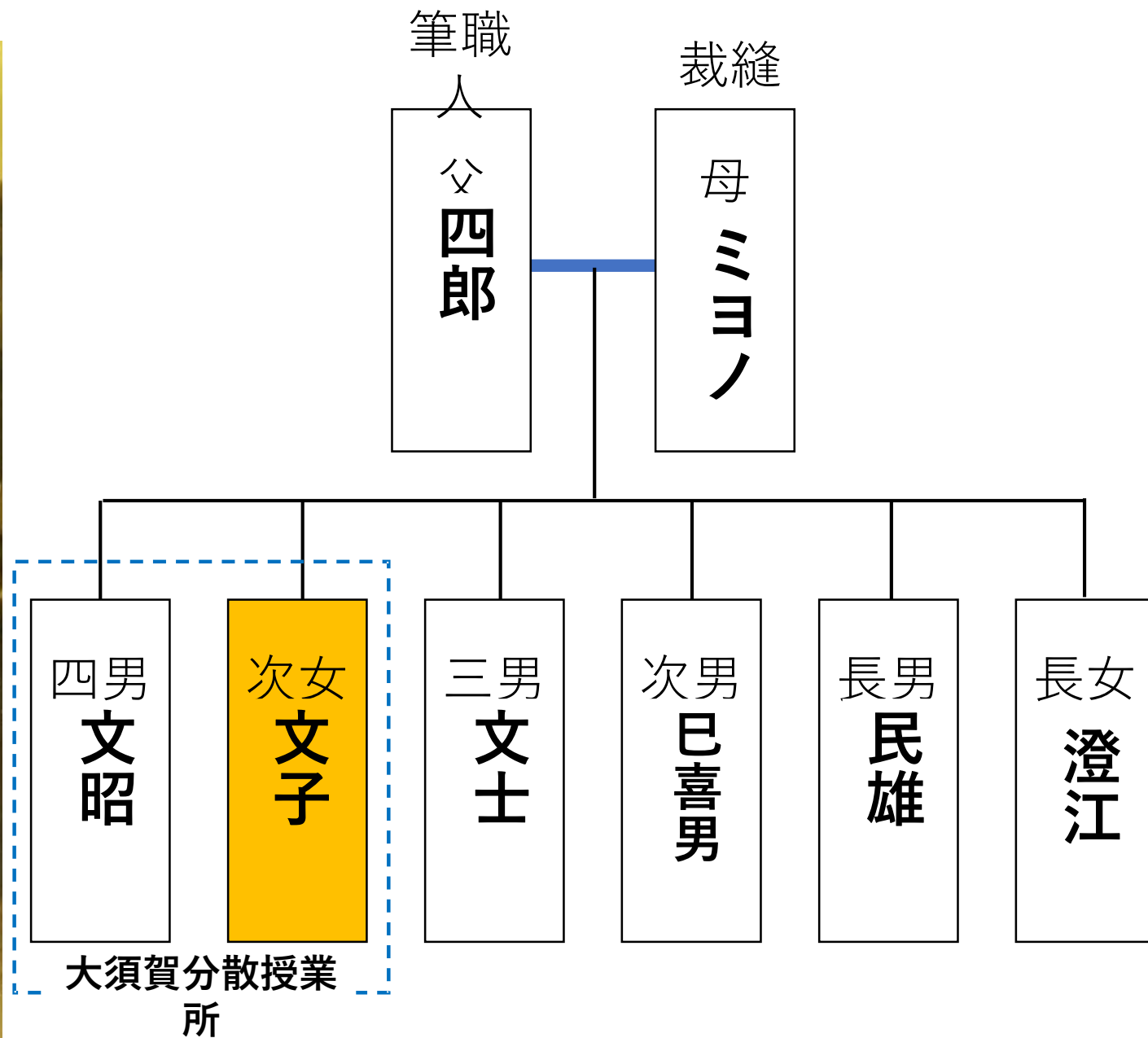
「可部に集団疎開した児童」提供 広島市立白島小学校 所蔵 広島平和記念資料館

「現在の平和大通り付近での建物疎開」作 浜田義雄 所蔵 広島平和記念資料館

梶矢家



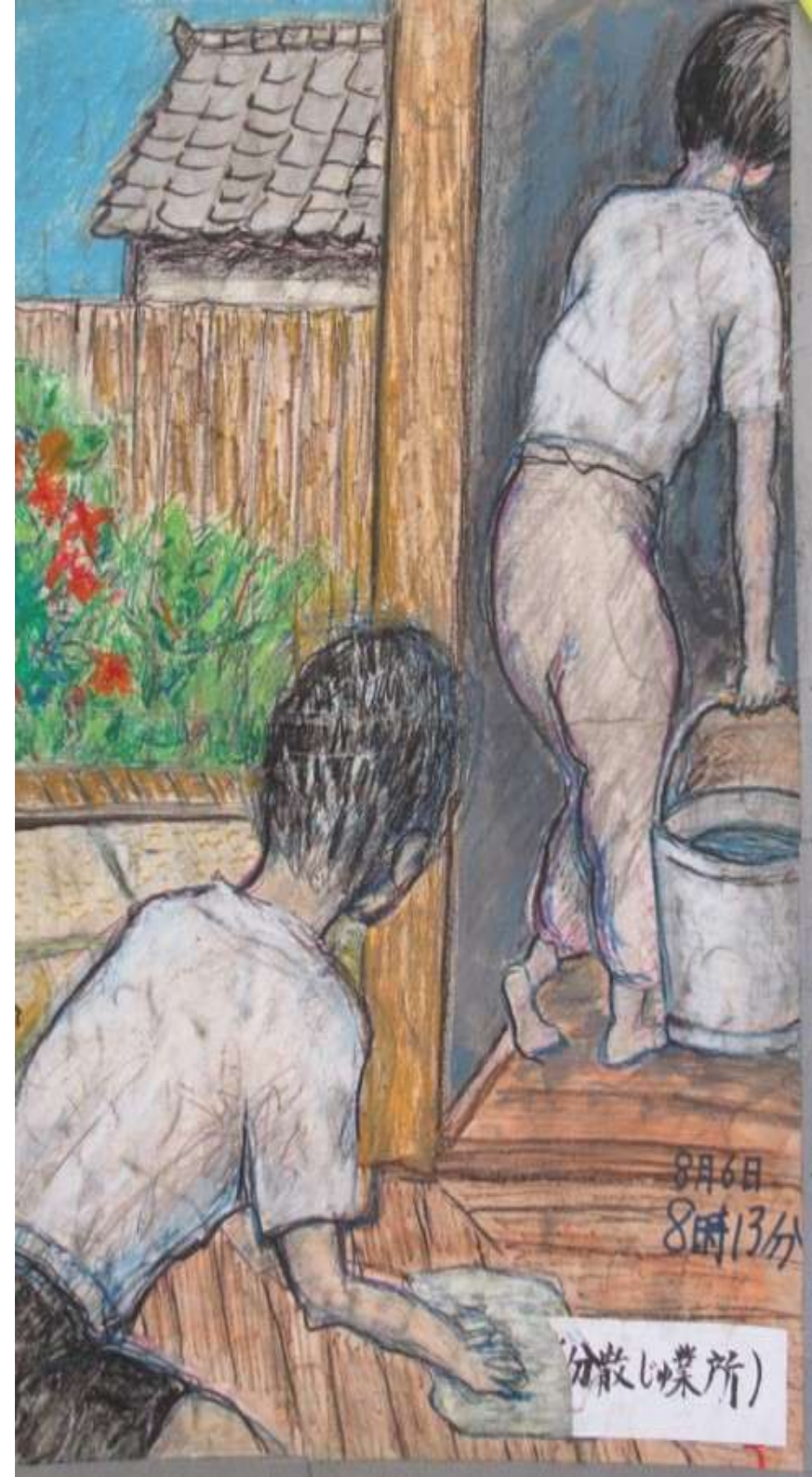
提供 梶矢 文昭





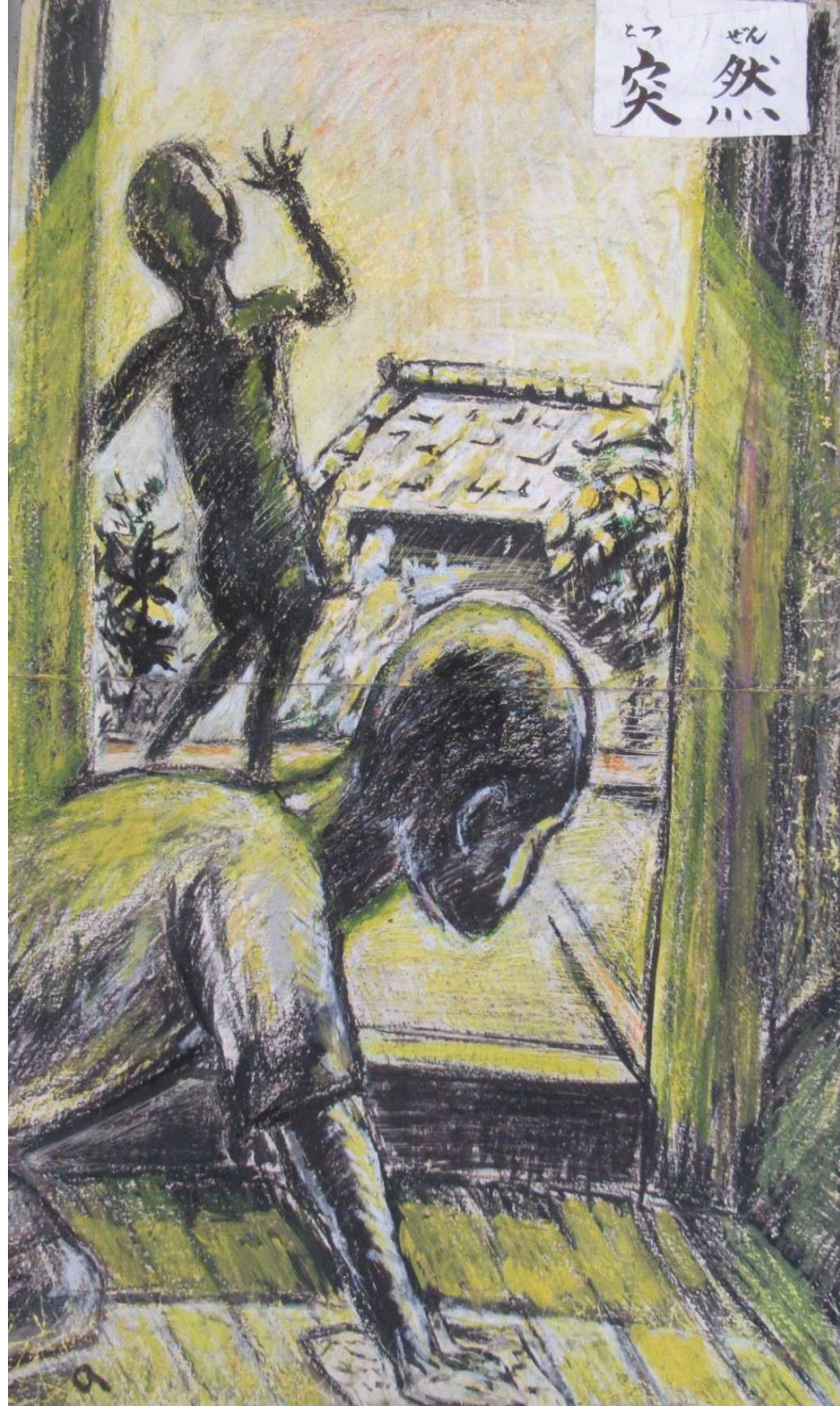
8月6日
昭和20年
昭和20年
8月6日朝7時40分
朝

作 梶矢 文昭

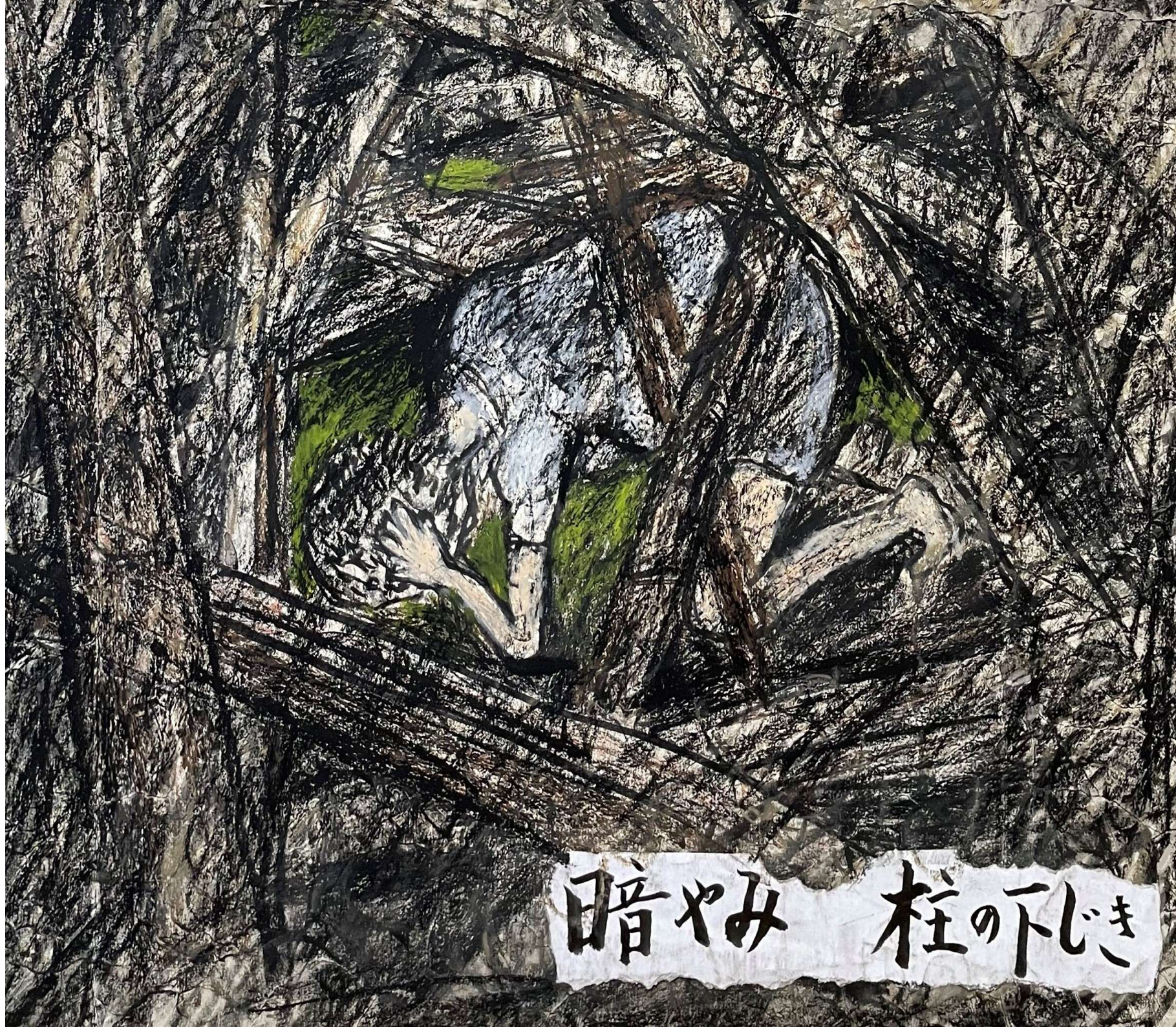


8月6日
8時13分

分散し(蝶所)



作 梶矢 文昭



暗やみ 柱の下いき



作
梶矢 文昭



昭和14年7月 大廣島市街地図（復刻版） 発行

あき書屋



京橋川・白島

作
梶矢 文昭



二葉山

れん べい
東練兵場



作
梶矢 文昭

瀬戸内
海

黄金山

猿猴川

広島駅

東練兵
場

広島東照
宮

PANORAMMA OF HIROSHIMA. (1)

景全街市島廣



母と姉

作
梶矢文昭氏

東練兵場 広島駅

今西祐行... わたしたちは、地獄の真中に
立っていました。(ヒロシマ)
原 民喜... コハ生キビテコノ有様ヲツタヘヨ
ト天諭ナラユ (ヒロシマ)



作
梶矢 文昭
氏



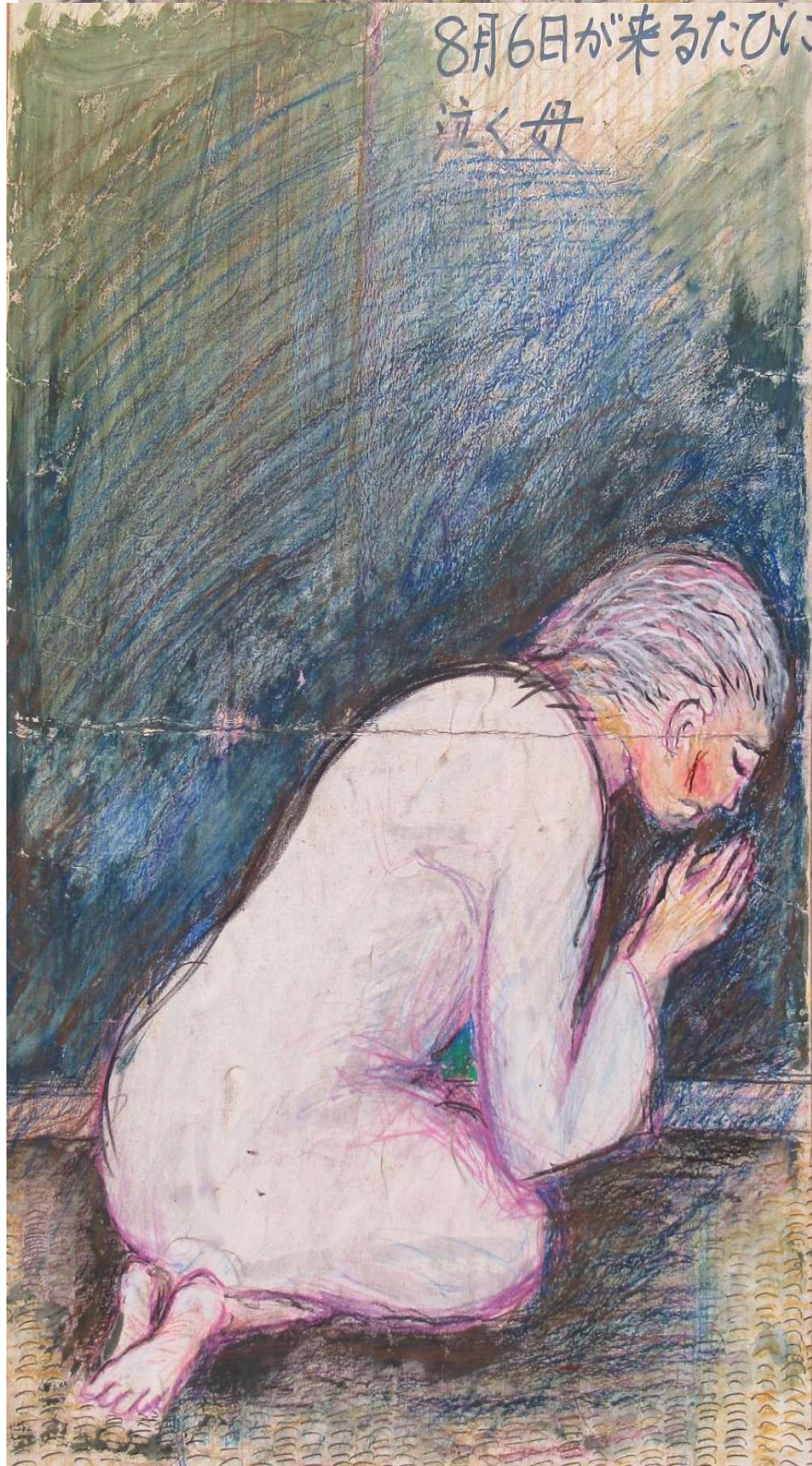
青空教室

広島市立荒神町小学校

1948年6月

所蔵・提供 中国新聞社

8月6日に来るたびに
泣く母



作 梶矢 文昭



作 梶矢 文昭



もう、あかつた
もう、泣ききんきんな
帰ろう、いしに、お母に帰ろう
死ぬとき、いっしょに死のうね

つれで、死かえって
うちで、死んで、ええ
死んでも、ええから
お母さんといっしょがええ

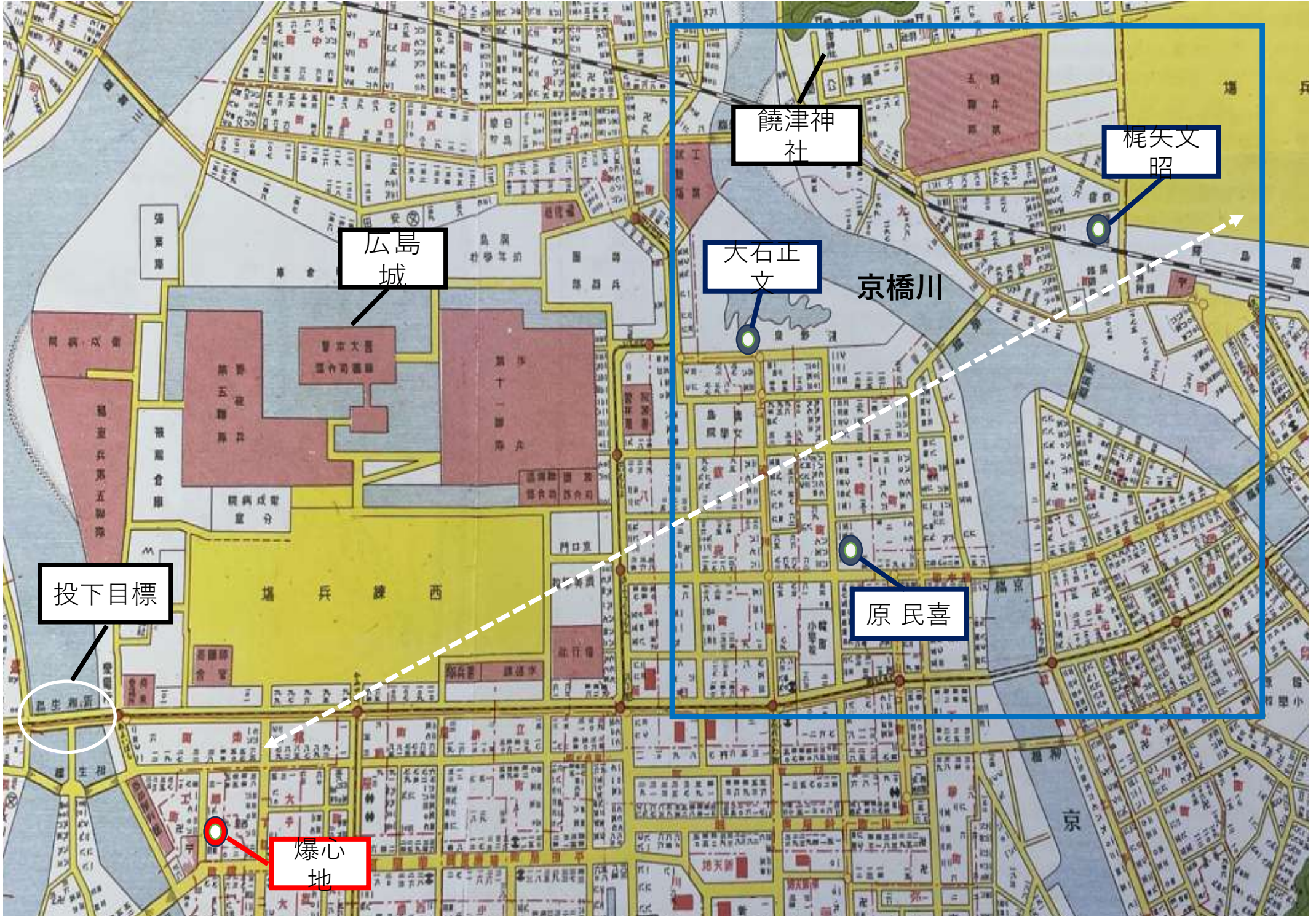
作 梶矢 文昭

「かけつけた 父は死体の姉を出し
なお 吾子 さがす 火が迫
る中」

分散授業所から避難していることを知るよしもなく、私を見つけだせなかった父は、合掌してその場を離れたという

梶矢 文昭 著 「閃光と再生 原爆・教育・蝶と旅」 (2001年発行) から

原 民喜 と 大石 正
文



投下目標

弘島城

饒津神社

梶矢文昭

大石正文

京橋川

原民喜

爆心地

昭和14年7月 大廣島市街地図（復刻版） 発行

あき書房

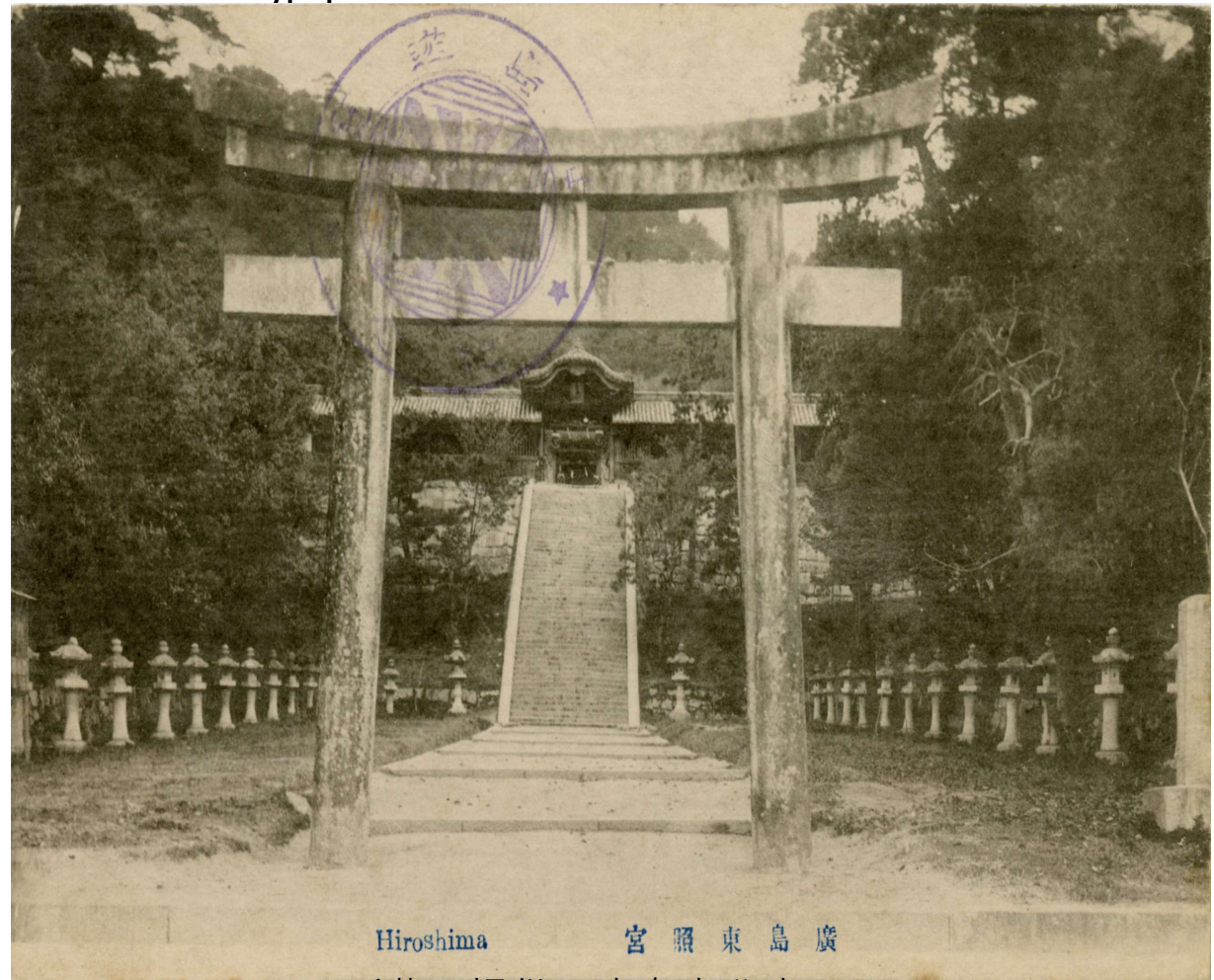
原 民喜 (1905年11月15日 - 1951年3月
13日)

幟町の自宅便所内で
被爆



所蔵・提供 広島市立中央図書館

猛火の京橋川河岸にて
広島東照宮に避難して
一泊



Hiroshima 宮 照 東 島 廣
所蔵・提供 広島市公文
書館

「コハ 今後生きノビテ
 コノ有様ヲツタヘヨト
 天ノ命ナラン

ナ 佐伯郡八幡村にて「夏の花」
 策策都杉並区で逝去（行年46
 歳）



原爆65周年追憶碑

広島東照宮階段下の追憶碑 撮影 伝承者 (大石)



平和公園内慰霊碑 撮影 伝承者 (大石)

大石 正文 (1931年2月11日 - 2007年5月6日)



1942年 西志和国民学校 6年生 (11歳)
所蔵 伝承者 (大石)

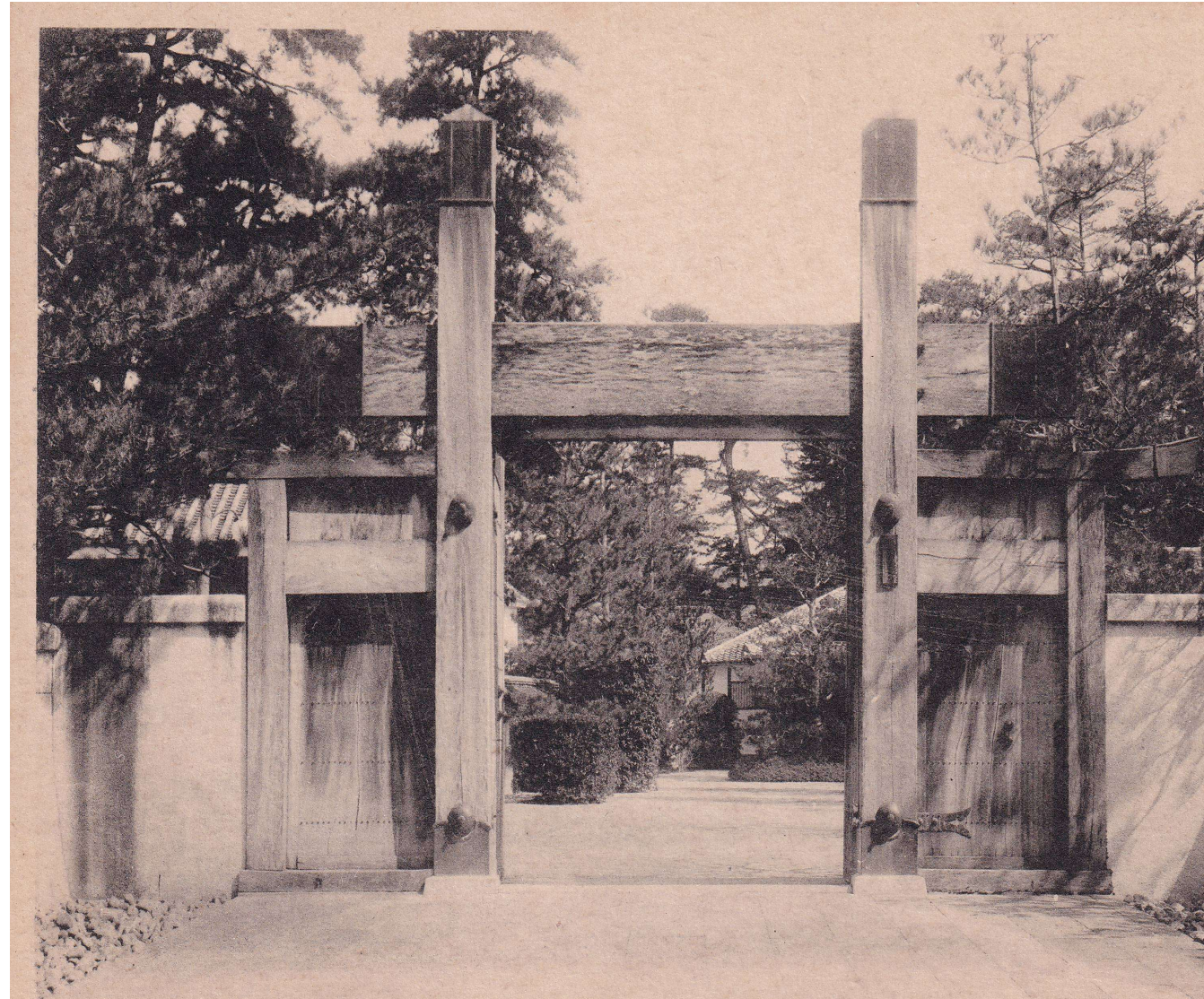


広島商業学校三年生 動員先（日本製鋼所） は電休日

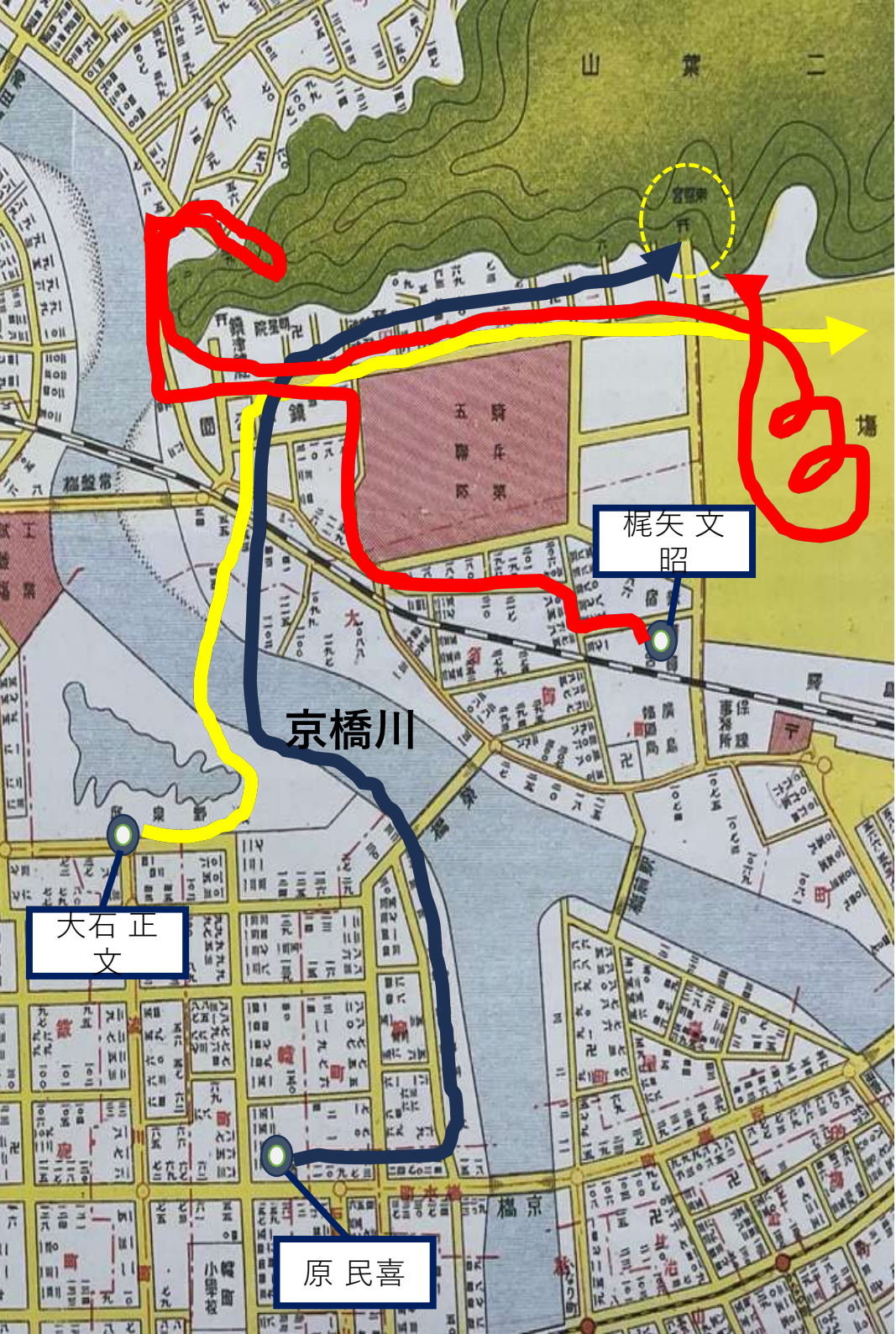
泉邸内の叔母宅で被
爆^重体の叔母を連れて
避難^景橋川を渡り東練兵
場へ



1955年（24歳）頃 所蔵 伝承者（大石）



泉邸（現 縮景園） 所蔵・提供 沖本 春樹



避難ルート

-  梶矢 文昭 (6歳) 小学生
-  大石 正文 (14歳) 中学生
-  原 民喜 (40歳) 小説家

3 次世代へヒロシマを繋ぐ



被爆体験を語る梶矢
さん

撮影 伝承者（大
石）

「三度許すまじ 原爆を世界の町に」



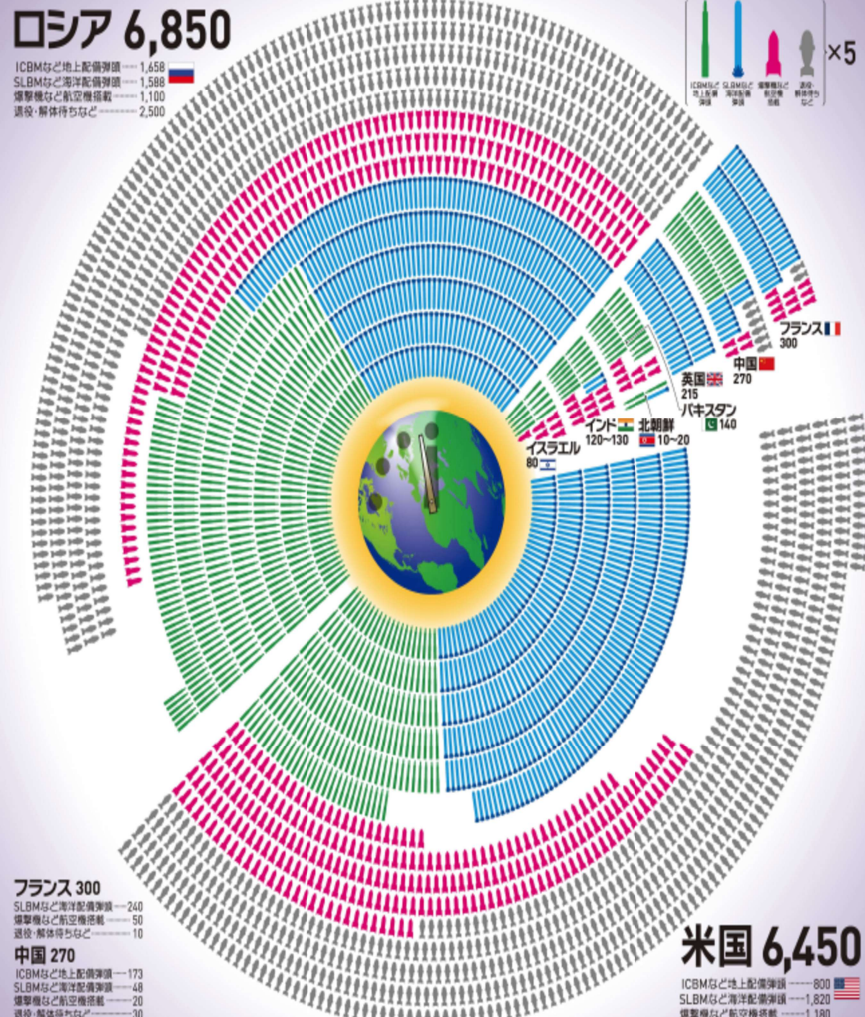
原爆を許すまじ

ふるさとの 街やかれ
身よりの骨うめし 焼土に
今は 白い花咲く
ああ許すまじ 原爆を
三度許すまじ 原爆
を
われらの街に

作詞 浅田石二 作曲 木下航二

被爆体験を語る梶矢さん 撮影 伝承者（大石）

存在する限りは使われる 世界の核弾頭データ 2018.6



14,450

前年比:-450

核兵器廃絶長崎連絡協議会/長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA) 作成:RECNA核弾頭データ追跡チーム。さらに詳しいデータは: <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>
数字は丸めのため、実際の合計数と異なる場合があります。

『世界の核弾頭』 ポスター

核弾頭総数

2018年 14,450
2024年 12,121

現役核弾頭数

2018年 9,251
2024年 9,583

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA)

世界の現役核弾頭数 2024.6

配備されていても使えない状態にある核弾頭と、配備に備えて貯蔵されている核弾頭の合計

進んでい 核軍拡が んでいる

ロシア 2018~24年の増減
↑34 0.8% 増加
現役核弾頭数 4,380

フランス 2018~24年の増減
→0
現役核弾頭数 290

中国 2018~24年の増減
↑260 108% 増加
現役核弾頭数 500

パキスタン 2018~24年の増減
↑30 21% 増加
現役核弾頭数 170

イスラエル 2018~24年の増減
↑10 13% 増加
現役核弾頭数 90

英国 2018~24年の増減
↑10 5% 増加
現役核弾頭数 225

北朝鮮 2018~24年の増減
↑35 233% 増加
現役核弾頭数 50

米国 2018~24年の増減
↓92 2.4% 減少
現役核弾頭数 3,708

インド 2018~24年の増減
↑45 36% 増加
現役核弾頭数 170

9,583

↑332 増加
2018~24年増減

存在する限りは使われる
332増加
2018~24年増減

(現役核弾頭数に退役・解体待ち弾頭数を加えた総数: 12,120)

核兵器廃絶長崎連絡協議会/長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA) さらに詳しいデータは

戦略核（大型）から戦術核（小型）へ

TNT（トリニトロトルエン） 爆薬の原料

◆ 広島型 → TNT換算で約16kt（±2kt）

◆ 戦略核 → TNT換算で約1,000kt（1mt）級

◆ 戦術核 → TNT換算で約0.5～100kt

基本抑止から拡大抑止そして核共有へ？



原爆死没者慰霊碑から望む原爆ドーム 撮影 伝承者（大石）



開館時の広島物産陳列館

所蔵・提供 広島市公文書館

1150

ご聴講ありがとうございました